

プログラミング 分かりやすく

熊本高専熊本キャンパス(合志市)の学生が、小中学生にプログラミングを教える出前授業に取り組んでいる。2020年度から小学校でプログラミングが必修化されるのを見据え、17年度から県内各地で開催。保護者の関心も高く、依頼は多いという。

本年度からは、プログラミングの結果が動きに直結して分かりやすいと、ドローンを取り入



パソコンのキーボードで操縦できるようプログラミングしたドローンが宙に舞い、笑顔を見せる参加者。菊池市

れている。20日に菊池市中央公民館で開いた教室でも、7人の学生が午前と午後の部で、ドローンを使って小中学生を指導した。

午前の部には、小学生13人が参加。学生らから基本的な考え方の説明を受けた後、米マサチューセッツ工科大が開発した「スクラッチ」と呼ばれる初心者向け言語を使ってプログラミングに挑戦した。

子どもたちは、スペースキーが押された時に「着陸」、上向き矢印キーが押された時に「前へ20センチ移動」など、パーツ化された命令を組み合わせてドローンに動作を指示。障害物の下をくぐったり、ボールの周りを回ったりと、思い通りに動くようになる。歓声を上げていた。

同キャンパス人間情報システム工学科5年の藤末彩乃さん(20)は「学年に応じて難易度を見極めるのは難しいけど、うれしそうに反応にやりがいを感じる」と満足そうに話した。

(林田貴広)